



静岡市議会議員

まつや清

発行：まつや清を応援する会 〒420-0839 静岡市葵区鷹匠 3-3-1 井口ビル 2A TEL:054-209-5677
Mail:chikyu_house@yahoo.co.jp
静岡市議会 都市建設委員会 静岡市議会 超党派太鼓サークル「葵陣太鼓」事務局長



静岡市政も国政も「波乱」の2026年！

苦しみを共に分かち合う=コンパッション=共感が大切にされる静岡を目指します！
難波市長が示した第5次総合計画に皆さんと一緒に声を上げていきましょう！

2月6日、難波市長は市議会に対して、①田辺市長の第4次総合計画を見直した第5次総合計画について②「積極投資」を軸とした財政運営の基本的な考え方、③大規模投資事業の状況(アリーナ、静岡駅南口駅広場、新清水庁舎、ENEOS社有地を活用したまちづくり、(仮称)海洋・地球総合ミュージアム)について、説明会を開きました。

まつや清は、公共投資への積極姿勢と8年後に始まる経常収支比率98%など財政不安をどう考えるか、少なくとも海洋・地球総合ミュージアムは中止する必要があることを市長に質問しました。2月12日の補正予算本会議では、「市民文化会館再整備事業、海洋地球総合ミュージアム」について議案質疑をしました。

一方で、緑の党グリーンズジャパンとしては、昨年12月12日、①コンパッション都市、コンパッションコミュニティを目指す静岡市、②すべての施策に脱炭素社会の視点の導入、③ジェンダー平等など多様な生き方の尊重、ケア型社会への転換などを含む6項目の要望書を提出しました。コンパッションという言葉は、「苦しみを共に分かち合う」や「共感」という意味で、今年の9月に妻が他界し、私自身が「死別」当事者となり、グリーフサポートを受ける中で、これからの街づくりに必要であると考えようになりました。



皆さんと一緒に難波市長が示した第5次総合計画について一緒に考え、声を上げていきましょう。

衆議院選挙の結果を真摯に受け止め、新たな政治文化を創り出したい！

アメリカのベネズエラ侵攻・中電の浜岡原発の基準地震動策定でデータ「捏造」という驚きのニュースで始まった2026年。「大義なき解散」と言われながらも、総選挙は戦後初めて自民党316議席(3分の2)を獲得する歴史的な大勝となり、中道革新連合をはじめ野党は壊滅的な敗北となりました。東京都知事選、兵庫県知事選などを経て、テレビ・新聞(オールドメディア)ではなく、SNSなどを媒介にした情報により、投票先を決める若い世代や成長からはずれる中間層の人たちによる「サナ活」という社会現象を生み出し、今回の選挙結果をもたらしたとの分析があります。

民主主義の重要な役割を果たす今回の選挙において、「左右対立、政策論争」という政治文化は機能しませんでした。私・私たち主権者の代理人としての中道改革連合の国会議員(タカ派高市総理に対抗する)をあまりにも多く失ってしまいました。ここから立ち上がるためには、経験してきた政治文化の在り方を見つめ直し、新たな「政治への希望」、「誰一人取り残さない社会」に向かって歩みを強めていく所存です。ご支援をよろしくお願い申し上げます。

城北から みんなで考えたい！ 「あさはた緑地」隣への配送センター移転計画

静岡市清水区鳥坂にある佐川急便配送センター(2ha)は、3年前の台風15号の被害をきっかけに、葵区の赤松地区の水田・畑への移転計画が進んでいます。大型トラック10台、中小型100台、軽150台、通勤者の乗用車200台規模の交通量が発生します。既に事業者説明会が昨年11月27日と12月11日に、あさはたスマイルで開催されました。住民の皆様からは、不安や懸念、他の場所にならないかなど厳しい意見が出されています。

論点としては、①鳥坂と変わらない水害浸水区域であること、②青地といわれる農業振興区域であること、③子ども病院、特別支援学校、高齢者施設のあるゾーンであること、④あさはた緑地は自然共生サイト、子どもの遊び場、環境教育の場であること、⑤ヘリポート基地同様に地盤沈下の懸念、⑥車両ルート問題などが上げられています。



2025年11~12月議会報告 まつや清総括質問の概要

1 気候危機対策における再生可能エネルギーの促進と規制

2026年6月議会をめぐり、再生可能エネルギーに関する条例制定が本格化します。高市政権はメガソーラーの抑制、柏崎刈羽原発の再稼働、原発依存の拡大へと舵を切りつつあり、気候危機対策が逆流しかねない状況です。一方、国際的にはCOP28で「再エネ3倍増」、COP29で「蓄電池6倍増」が合意されました。

こうした世界の潮流を踏まえ、難波市長が太陽光発電に関する条例を環境審議会へ諮問したことについて質問しました。

2 リニア中央新幹線トンネル工事と南アルプスの環境保全

南アルプスの自然環境への影響は、静岡市と静岡県の双方で議論が続いています。リニア中央新幹線のトンネル工事は難工事であるとの認識を持ち技術者でもある難波市長に対し、

- ▶ プレクラウド薬液注入の妥当性
- ▶ ネイチャーポジティブの考え方と「回避・低減・代償」の適用
- ▶ 藤島沢発生土置場の扱い これらの点について質問しました。

3 ひきこもり支援の現状と課題、委託事業者選定について

2015年度から2024年度にかけて、ひきこもり地域支援センター「DANDAN」は、12年もの間、事業を運営し、約200人への支援を行ってきました。ひきこもり支援には「支援の質」と「専門性」が不可欠ですが、2025年度からは「価格を主軸とした見積り方式」が採用されました。支援の継続性と専門性を確保するため、事業者選定にプロポーザル方式を導入すべきではないかと質問しました。

2025年11~12月議会報告 まつや清総括質問の概要

1 外国人住民との共生社会に向けて

昨年2025年の参議院選挙では、「外国人差別」をあからさまに掲げる政党が躍進しました。難波市長も鈴木県知事も、こうした「排外主義」の広がり懸念を示しています。また、「虚偽情報がSNSやAIを通じて拡散され、民主主義の基盤を揺るがしかねない」状況について、市長の認識を確認するとともに、市国際交流協会の役割について質問しました。

(質疑の詳細は、QRコードから)



2 外郭団体のあり方と公共施設における指定管理者制度について

静岡市は2017年に「外郭団体指針」を策定し、指定管理者制度において「コスト比較のみで公募・非公募を判断しない」などの方針を整理しました。一方、昨年5月には「13の外郭団体の在り方に関するPT(プロジェクトチーム)」が設置され、見直しが進められています。こうした流れを踏まえ、スポーツ協会など外郭団体による指定管理の在り方について質問しました。

3 葵区赤松地区周辺の企業立地について

葵区赤松地区周辺で、大手物流業者・佐川急便関連による約2haの配送センター計画が浮上しています。計画地は、いわゆる「青地(農業振興地域)」であり、隣接地には治水対策として整備された麻機遊水地が広がり、自然環境保全エリアにも近接しています。周辺には医療・教育・福祉施設が集積しており、立地として適切かどうか問われています。これを踏まえて、開発手続きの進め方について質問しました。

2025年6~7月議会報告 まつや清総括質問のテーマ

1 農業分野における地球温暖化対策について

2 南アルプスとリニア中央新幹線について

3 マイナ保険証と資格確認書について

2025年11~12月議会 追加議案質疑 会計年度職員の給与改定について質問

この質問では、会計年度任用職員の77%が女性である現状を踏まえ、<正規-非正規>の格差が実質的にジェンダー問題であることを指摘しました。そのうえで、2020年度から改善が進められてきた会計年度任用職員制度において、今回の給与引き上げがどのように反映されたのかを確認するために質問しました。



2025年12月臨時議会質疑

物価高騰対策としてのプレミアムデジタル商品券 児童一人2万円支給議案について

円安・インフレによる物価高騰対策としての国の補正予算可決を受け、1日も早い給付目指し臨時議会が招集されました。しかし、これらの施策は国の事業で、「本来、国が自分たちで実施すべき」と昨年6月政令市長会の要望を踏まえて市の業務負担の実情について質疑しました。

特別職等報酬審議会・上下水道経営協議会傍聴より

19年ぶりの議員報酬の3%引き上げや能登半島地震の経験を踏まえた上下水道の耐震化、老朽化対策のための料金引き上げが答申され、2・3月議会に提案されます。皆さんはどのようにお考えでしょうか。

国会議員の定数削減に反対

県内自治体議員に呼びかけ、国会議員会館で記者会見をしました。12月15日、定数削減法案の取扱いめぐり自民党・維新の会党首会談を控え「削減反対!自治体議員連絡会議」(1都2府1道28県250名)を代表して逢沢一郎衆議院選挙制度に関する協議会会長との面談と記者会見を行いました。

静岡県内は緑の党や無所属議員13名が賛同。逢沢議員は岡山市選出の国会議員で、名刺交換の際は、我が難波市長も岡山出身という話で盛り上がりました。地元静岡新聞、中日新聞、静岡朝日テレビ、東京新聞で報道されました。

PFAS水道基準について県内市長、町長に公開質問状

11月27日、緑の党静岡県本部として静岡市をはじめ35の市町長に水道水のPFAS安全基準を神戸市のように10ng/lにすることなど6項目を書面で質問。静岡市については、大石一誠上下水道局長に緑の党の共同代表の高橋隆子伊豆の国市議と直接、要請しました。背景には、2026年の4月から法律により水道水基準は50ng/lになります。



一方で、9月に公表された静岡市の水道水のPFAS検査では、由比川からの浄水で最大値が昨年の14から17ng/lに増加しています。緑の党兵庫県本部は兵庫県内の市長、町長に神戸市の自主基準を採用するようにとの要望書を提出したことに連携したものです。

気候正義訴訟の原告として東京地裁に訴状を提出

2月18日、日本で初めて気候正義訴訟「国家賠償請求訴訟」が東京地裁に提訴されました。島昭宏弁護士団長、原告団の齋藤幸平東京大学准教授、漢人あきこ東京都議などと共に記者会見をしました。まだ原告452人ですが、第2次原告募集も開始されています。初公判は4月頃の予定です。2021年の市議会議員選挙でまつやの推薦人になっていただいた齋藤幸平さんと久方ぶりにお会いすることができ、日本やヨーロッパの政治の厳しさについて少しだけお話ができました。

●気候正義訴訟の原告を2次募集中

気候正義訴訟とは 原告団になるには



真で見る まつや清 活動の 日々



10月19日●第28回外国人無料検診会 受診者103人(12か国から)



11月3日●大道芸ワールドカップ in 静岡「天使の羽」清掃ボランティアで参加



12月11日 ●311を忘れない in 静岡 福島の子どもための街頭募金活動



12月13日 ●年末恒例「きよしとこの夜」まつや清を応援する会政治資金パーティー



1月14日●自治体議員政策研究会 テーマ:ふるさと納税のしくみを考える



1月19日●浜岡原発3、4、5号機の廃炉を求める要望書を県に提出

松谷さんとのご縁は種子法 そして選挙

まつや清を応援する会 事務職員 白井美保さん

松谷さんと初めてお会いしたのは、2018年の春、アイセル21の種子法の勉強会の時になります。種苗法成立により、農家自身での増殖が禁止されるという事を聞き、何かできることはないかと友人に相談したところ、元農水大臣だった山田正彦さんをご紹介いただき、種子法の勉強会を主催しました。その際、多くの方々の協力を得て開催できた勉強会に松谷さんが最前列で聴講されているのを見かけました。そして、時は流れて、今年1月、まつや清を応援する会で選挙スタッフを探しているということでお手伝いをする事になり、その後5月には、前任の立川斉子さんから引き継いで、事務局スタッフを務めることになりました。「個人の想い」が繋がって、「市民活動」、「市民運動」という形になり、松谷さんによって政治との場に運ばれていくのを今日の前で見せて頂いております。昔は「祭り」と「政治」は一致していたと言いますが、「政(まつりごと)」も、私のように政治に疎い者もこれからはもっと参加しやすく、気軽に、カジュアルに語り合え、自分事として楽しめる「場」がたくさんあってほしいなと思っています。まだまだ不慣れでご不便掛をおかけしますが、どうぞよろしくお願い致します。



委員会と議会審査

- <6月議会>静岡駅から静岡県立総合病院までの医療福祉自主運行バス新路線について
 - <9月議会>アリーナと長沼駅を結ぶペDESTリアンデッキ整備事業、東静岡駅中心に南北エリア医療福祉 AI オンデマンド地域交通実証事業などについて
 - <決算審議>城北公園、赤松地区配送センターなど
 - <12月議会>巴川河口部水門検討事業など、以上を都市建設委員会では審議しました。
 - <委員会視察>7月22日~24日、神戸市、各務原市、一宮市、豊橋市(アリーナに関する視察)
 - <アリーナ新スタジアム整備特別委員会視察>10月30~31日、神戸市、広島市(アリーナに関する視察)
- ※所属委員会ではありませんが、参加させていただきました。



神戸市 GLIONARENAKO スタジアム

9月14日、妻・高島登志美が永眠いたしました

告別式は9月21日、近親者にて静かに執り行いました。生前に賜りましたご厚情に深く感謝申し上げ、謹んでご挨拶申し上げます。妻は7年間の闘病の中で、幾度も絶体絶命の危機を奇跡的に乗り越えてきました。「自宅で最期を迎えたい」という妻の願いを尊重すべく、専門職の皆さまや妻の友人による「チーム高島」の支えを得ながら、在宅での体制を整えておりました。私自身も政令市議会の「議員の介護休暇制度」を確認し、議会初日の9月16日には介護休暇の申請を議長に提出していたところでした。しかし、14日未明に容態が急変し、そのまま息を引き取りました。死別から5カ月が経ちましたが、いまだ心の整理はつかず、記憶の中で生き続ける妻と共に歩む思いで日々を過ごしています。病気、災害、自死、犯罪、交通事故など、家族や隣人を突然失う「死と喪失」に直面する方々は少なくありません。残された人々の心のケア=「グリーフサポート」は、いま社会全体の大きな課題となっています。その現状を踏まえ、1月16日には、東日本大震災を経験した宮城県仙台市で全国初の開催となった「グリーフフェスティバル」を視察してまいりました。 ※昨年は、「マツキヨ通信」夏号を休刊としたため1年ぶりの発行となりました。議会報告を待っていたいただいた皆様の期待に応えられずお詫び申し上げます。

まつや清を応援する会 2026年度 会費・通信費・カンパのお願い

「まつや清を応援する会」の活動は、会費、通信費、カンパで支えられております。まつや清の政治理念にご賛同いただき、皆様に応援していただきたいと思っております。貴重な献金は政治活動に活用させて頂き、政治資金規正法に基づきご報告させて頂きます。是非ご協力をお願い申し上げます。また、応援する会の活動年度は4月から翌年3月までとなります。

年会費 12,000円 半年会費 6,000円 通信費 1,200円
カンパ (お気持ちをお寄せください)
<納入先> いずれも口座名は「まつや清を応援する会」
郵便振替 00880-6-72826
ゆうちょ銀行 〇八九(せ)〇(け)〇(く)支店(当座)0072826

まつや清を応援する会 代表 榎本信雄

●まつや清の政治活動は特定の企業からの献金は受けておらず、個人からのご支援によって支えられています。

※会計年度は4月~翌年3月 前期4月~9月 後期10月~3月

2026年静岡市議会定例会日程

- 会期 2月9日~3月19日 39日間
- 2/9 本会議 会期決定・議案上程・説明
- 2/12 本会議 補正予算案質疑
- 2/13 厚生・観光文化経済・都市建設委員会
- 2/16 総務・企業消防・市民環境教育委員会
- 2/20 本会議(補正予算表決・本予算上程)
- 3/2・3/5 本会議・代表質問・個人質問(まつやは3/5)
- 3/9・3/10 総務・企業消防・市民環境教育委員会
- 3/11・3/12 厚生・観光文化経済・都市建設委員会
- 3/19 本会議 議案上程・委員会報告・質疑・討議・表決



議会中継

イベントスケジュール

●地球ハウス学校(リモート勉強会 どなたでも参加できます)
3月25日(水)19:30~21:30 テーマ:「死と喪失」によって生まれる心と体の変化=グリーフについて考える
※お問合せは、下記メールアドレスへ

●まつや清 プロフィール

1951年 新潟県柏崎市生まれ 静岡大学工学部中退
1987年 静岡市議会議員(3期)、静岡県議会議員(1期)、国会議員政策秘書を経て、2009年より静岡市議会議員(5期目)

●まつや清を応援する会

電話:054-209-5677 (月)・(水)・(金) 9:30~16:00

E-mail: chiky_house@yahoo.co.jp